

第2学年 国語科学習指導案

平成27年10月6日（火）5校時

授業者 T 1

T 2

T 3

1. 単元名 どうぶつのひみつクイズを作ろう

教材文「ビーバーの大工事」 東京書籍二下

2. 単元の目標

- 動物のひみつについて説明した本や文章を選んで読み、クイズを通して、問答を楽しもうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 自分の知りたいことや不思議に思ったことに関する情報を得るために、なぜそうなるのかを文章から見つけながら読むことができる。
(読む能力)
- 主語と述語の関係に気をつけながらクイズや答え等を考えている。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
○動物のひみつについて説明した本や文章を選んで読み、クイズを通して相手に分かりやすく説明しようとしている。	○事柄の順序を考え、叙述に即して読もうとしている。(イ) ○大事な言葉を文章から見つけ、読もうとしている。(エ) ○クイズ作りのため本を選んで読もうとしている。(カ)	○主語と述語の関係を考えて、相手に分かりやすいクイズの答え等を書いている。(イ【カ】)

4. 学習の基盤

○本単元は、学習指導要領 C 読むこと (1) イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」カ「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」を受けた内容であり、事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読み、クイズ作りをすることによって指導を行う。また、(C) 読むことの指導を通して、国語の特質に関する事項の(カ)「文の中における主語と述語との関係に注意すること」についても指導を行う。

本教材は、ビーバーの巣作りを例として挙げ、ビーバーの体の特徴やダム作り、巣の工夫について、大事な言葉や事柄の順序に気をつけて正しく読み取っていくことができる。本文は、木を切って川へ運ぶ、ダム作り、巣作りの3つに分かれており、分かりやすい構成となっている。写真や挿絵が多く、分かりやすく学べる。動物のひみつが多く書かれており、興味・関心をもちながら読み進められる。また、動物のひみつクイズを考え、解き合いながら楽しく学べる教材である。

○本単元では、事柄の順序や大事な言葉に気をつけて、読み取る力を身につけさせていきたい。そのために、始めに学習の見通しがもてるように、動物クイズを教師が示し、これから取り組む内容をはっきりさせ、意欲をもたせたい。その際、担任、司書教諭、学校司書の3人でクイズ作りや資料の用意を役割分担し、個に応じたものを用意しやる気をもって取り組めるようにする。紹介したクイズを解いていく中で、動物のひみつに興味をもたせたい。そして、どのような学習を進めていくか考えさせる。この活動を取り入れることで、児童は学習意欲を持続し、学習活動に主体的に取り組むと考えられる。次にクイズを作るために、教材の読み取りをし、動物のひみつを見つけていく。ワークシートを活用し、巣が完成するまでの過程を順序に沿ってまとめるとともに、動物のひみつをまとめる。その際、どこに何が書いてあるのか、大事な言葉を探しながら読み取ったり、順序に気をつけて読み取ったりする。最後にクイズ作りを行う。ビーバーの大工事で学んだことを元にクイズを作る。もっと知りたいことが出てきた児童には、他の資料でしらべたこともクイズにさせる。さらに発展させ、他の動物についてもひみつを見つけて、クイズを作成する。クイズを作るときには、大事な言葉を四

角で囲むなどして、テーマをはっきり意識させ、文章のどの部分が答えになるかを見つけてから、文章に表せるようにヒントカードを提示し、スムーズに活動できるようにしたい。

5. 単元の指導計画と評価規準 (全18時間)

次	時	ねらいと学習活動	おもな評価規準
1	1 (本時)	<p>どうぶつクイズを解くことを楽しみながら、学習の見通しをもち、学習意欲を高めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを解き、動物のひみつに興味をもつ。 ・答えの書いてある資料を探し出し、活用する。 ・学習の見通しを持つ。 ・題名と写真から、どんな工事をするか予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物のひみつに興味をもち、どんな学習をするか見通しをもつことができる。(関心・意欲・態度)
	2	<p>「ビーバーの大工事」を読み、説明文に興味をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の拡大写真を見ながら、ビーバーについて知っていることを話し合う。 ・範読を聞き、内容の大体をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物に興味をもって話したり教科書を読んだりしている。(関心・意欲・態度)
2	3 4 5 6 7	<p>大工事を行うビーバーやビーバーの知恵を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を切って川へ運ぶビーバーの様子、ダム作りをするビーバーの様子、湖の中に巣を作るビーバーの知恵について、大事な言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を探しながら内容を読み取り、知りたいことを見つけることができる。【読むこと(1)エ(2)ウ】 ・書かれている事柄の順序に気をつけて、ビーバーがダムや巣を作る様子を読み取っている。【読むこと(1)イ】
3	8 9 10 11 12 13 14 15	<p>動物について調べたことを元に「どうぶつのひみつクイズ」作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーの大工事で学習したことを元にクイズを作る。 ・ビーバーの大工事ですらに調べたいことを調べ、クイズにする。 ・興味のある動物について書かれた本を探す。 ・本を読み、初めて知った事や驚いたことなどを元にクイズを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を集め、クイズを書くことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】
4	16 17 18	<p>作ったクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったクイズを出し合い、本の中から答えを探し、解答用紙に書く。 学習のふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちが考えた「どうぶつのひみつクイズ」を読んで、本から知りたいことを見つけ、その答えを調べることができる。【読むこと(2)エ】

5. 本時の学習

(1) ねらい どうぶつクイズを解くことを楽しみながら、学習の見通しをもち、学習意欲を高めることができる。

(2) 学習の流れ (1/18)

時間	学習活動	教師の支援 (・)・評価 (☆)		
		(T1)	(T2)	(T3)
	めあて どうぶつクイズをとき、どうぶつのひみつを知ろう。			
25	○どうぶつクイズを出す。(T2) ○資料を紹介する。(T3) ・ 答えは何だろう。 ・ 大事な言葉があるから、ここかな。 ・ よく読んでみよう。答えは、これかな。 ・ 動物って、すごいなあ。 ・ ペアの友だちはわかったかな。聞いてみよう。		・動物クイズを用意する。 資料を使わず答えられるものと、資料を使って答えるものの2種類を用意し、興味をもたせるようにする。	・児童の実態に合った資料を用意し、紹介する。調べ方を事前に指導する。
10	○見つけた答え(どうぶつのひみつ)を発表し、クイズ作りに興味をもつ。 ・ 答えはあっているかな。 ・ 大事な言葉の書いてあるところを読んだら、わかったよ。 ・ 動物のひみつをもっと調べてみたいな。	・答えあわせでは写真も提示しわかりやすく解説をする。驚いたことなど感想も発表させるようにする。		
5	○学習計画の見通しをもつ。 ・ 動物のひみつを調べ、クイズ作りを確認する。 ・ 教科書の教材「ビーバーの大工事」から、動物のひみつを見つけることを伝える。 ・ 題名と写真から、どんな工事をするか予想する。		☆資料を適切に活用し、楽しくどうぶつクイズを解いていたか。(発言・ワークシート)	
5	○まとめとふりかえりをする。 ・ 動物にはいろいろなひみつがある。 ・ もっとしらべてクイズを作ろう。	・教科書の写真を拡大したものを提示する。		

(3) 本時の評価

	十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
読むこと	楽しくどうぶつクイズを解き、資料を適切に活用して答えを見つけ、これから学習することを理解し、意欲をもっている。	楽しくどうぶつクイズを解き、資料を活用して答えを見つけ、これから学習することを理解している。	どの資料を使うと良いか一緒に考える。文章と一緒に読み、どのあたりに答えがあるか、ヒントを与える。

(4) 研究の視点

- どうぶつクイズを見せ、実際にクイズを解かせたことは、自分たちで学習の見通しをもつことにつながったか。
- 必要な情報を得るための資料提示は適切であったか。